

特別会計などの決算概要

【特別会計の決算】

- 水道事業会計（公営企業）を除く、特別会計（7会計）の決算額は、歳入が152億9,590万円で対前年度比4.3%増加。歳出は、137億3,831万円で対前年度比1.0%の増加となりました。

単位：万円

会 計 名	歳 入	歳 出
国 民 健 康 保 険 会 計	392,152	351,959
介 護 保 険 会 計	190,612	175,139
老 人 保 健 会 計	380,140	379,608
公 共 下 水 道 事 業 会 計	370,959	360,946
特 定 環 境 保 全 会 計	51,361	48,747
農 業 集 落 排 水 事 業 会 計	15,300	14,648
東 海 環 状 自 動 車 道 工 事 残 土 処 分 事 業 会 計	129,066	42,784
合 計	1,529,590	1,373,831

【水道事業会計の決算】

- 水道事業会計（公営事業）は、事業収益に当たる「収益的収支」では、給水収益などの増加や修繕費および企業債償還支払利息などの減少により、増収となりました。

単位：万円

区 分	歳 入	歳 出
収 益 的 収 支	126,302	106,460
資 本 的 収 支	46,129	77,409

建設事業にあたる「資本的収支」では、森山浄水場整備事業や下水道関連の上水道管布設替工事などを行いました。

監査結果

- 公正で合理的かつ能率的でコスト意識を重視した行政運営に努め、住民満足の向上を

平成16年度美濃加茂市一般会計および特別会計の決算実質収支、財産、並びに基金の運用状況について審査したところ、各会計ともおおむね堅実な運営がなされたものと判断される。

〈略〉

一般会計の市債残高は192億5,571万円で、前年度末に比べ3億3,784万円の増加であった。

〈略〉

経常収支比率（※）は、経験的には75%程度が妥当と考えられているが、本市の経常収支比率は主に普通交付税交付額や臨時財政対策債発行額の減に伴い81.3%となり、財政構造の弾力性が低下傾向にある。

特別会計の実質収支は14億6,909万円の黒字になった。

しかしながら、特別会計のうち国民健康保険会計、介護保険会計および老人保健会計は、高齢者や介護認定者の増加、医療費の増加で依然厳しいものがあり、一般会計からの繰入金が増加が懸念される。また、下水道会計では、水洗化率の向上による使用料の増加や受益者負担金などの収納率向上努力により安定した歳入を図るよう努力を望むものである。

〈略〉

今後も公正で合理的かつ能率的でコスト意識を重視した行政運営に努め、住民満足の向上にお一層努力されるよう望むものである。

「平成16年度美濃加茂市一般会計・特別会計歳入歳出決算
及び基金運用状況審査意見書」から抜粋

※経常収支比率とは、税などの経常的歳入一般財源のうち、経常的支出に要する経費（人件費や公債費など）にどのくらい充当しているかを見ることで、自治体財政の健全化を判断します。